

雨庭づくり体験型ワークショップを開催しました!

近年、気候変動の影響で頻発する豪雨への新たな対策として注目を集める「雨庭」。家庭でも取り組むことができる水害対策のひとつです。杉並区では、桃井原っぱ公園に雨庭を区民とともに作り、効果を実感するワークショップを計3回開催しました。

第1回

「雨庭」や「グリーンインフラ」という考え方を知ろう!

日時:令和7年8月23日(土) 10:00~12:00
場所:杉並区勤労福祉会館 参加者:38名

第2回

実際に「雨庭」をつくって、より身近に感じよう!

日時:令和7年10月18日(土) 10:00~12:00
場所:桃井原っぱ公園 参加者:25名

第3回

「雨庭」の効果を測り、理解を深めよう!

日時:令和7年11月22日(土) 10:00~12:00
場所:桃井原っぱ公園 参加者:27名
杉並区勤労福祉会館

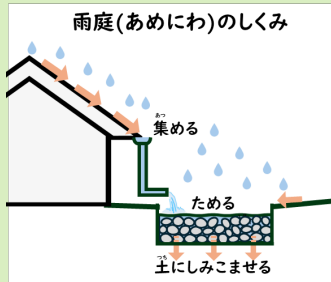
第1回ワークショップ「雨庭」や「グリーンインフラ」という考え方を知ろう!



第1回雨庭ワークショップでは、杉並区における豪雨による水害の現状と、その対策のひとつである「雨庭」や「グリーンインフラ」という考え方について区民の皆様にご覧いただくことを目的に実施しました。

1. 「雨庭」や「グリーンインフラ」の基本を学ぼう!

区から近年の豪雨の増加による区内での浸水被害の現状を解説するとともに、専門家から水害対策のひとつである雨庭の概要や効果、作成事例について紹介してもらいました。



3. 「雨庭」のアイデアを発表し、共有しよう!

各グループワークで作成した雨庭のアイデア及びイメージを他のグループの方にも共有することを目的に発表しました。

イラストにしたアイデア



2. グループワーク「雨庭のアイデアを考えよう!」

雨庭づくりを体験して、雨庭を身近に感じてもらうために、公園につくる雨庭のアイデアを参加者の皆様にご覧いただくグループワークを実施しました。

STEP1 「こんな雨庭があったらいいな」

公園にどんな雨庭があったらいいかをグループ内で意見を出し合ってもらい、つくりたい雨庭のアイデアを考えてもらいました。



「雨の日が楽しみになるような雨庭が作りたい」、「生き物が住めるような雨庭にしたい」など、たくさんアイデアが挙げられました。

STEP2 「どんな雨庭をつくる?」

STEP2では、具体的にどんな雨庭をつくりたいかを各グループで話し合い、文字やイラストなどで描きだしてもらいました。



発表の様子

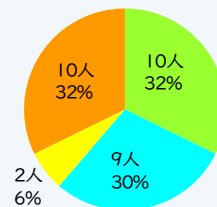


参加者アンケート

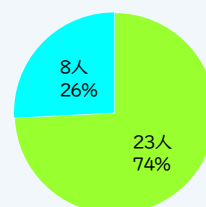
調査日:令和7年8月23日(土)



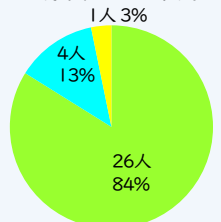
雨庭の認知度



雨庭の理解度



講演の理解度



よく知っていた
なんとなく知っていた
名前だけは知っていた
知らなかった

よくわかった
少しわかった
あまり分らなかった
分らなかった

よくわかった
少しわかった
あまり分らなかった
分らなかった

【お問い合わせ】
杉並区 土木計画課
TEL:03-5307-0739 FAX:03-3316-2470



第2回ワークショップ 実際に「雨庭」をつかって、より身近に感じよう!



第2回ワークショップでは、雨庭をより身近に感じてもらうために、参加者が考えたアイデアをもとに桃井原っぱ公園に雨庭をつりました。

雨庭づくり作業の様子

桃井原っぱ公園内の2箇所をそれぞれA地区、B地区と定め、各グループに分かれて作業しました。

A地区



B地区



雨水を貯める空間をつくるために、地面を掘って碎石等を入れる空間をつります。

土による碎石の目詰まりを防ぐため、水だけを通すシートを張ってから碎石を入れていきます。

碎石の上に景観石を積んで、見た目を整えます。

雨庭の周りにツツジや芝生などを植えていきます。

雨庭完成後の様子 (A地区)

A地区は日本庭園をイメージしたデザインの雨庭をつりました。



雨庭完成後の様子 (B地区)

B地区はなみすけをモチーフにした雨庭をつりました。



第3回ワークショップ 「雨庭」の効果を測り、理解を深めよう!

第3回雨庭ワークショップでは、時間経過で浸透能力にどのような変化があるのかを実験を通して理解してもらいました。また、作成後の雨庭を観察し、雨庭の維持管理方法や周知方法について議論を行いました。

1. 浸透実験の実施

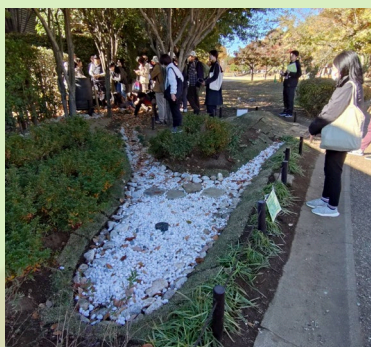
耕したばかりの土と耕してから約1か月後の土で浸透実験を実施し、時間経過による土の浸透能力の変化を実感してもらいました。



土を耕して雨庭をつくっても、時間の経過によって土が固まると浸透量が減少してしまう事が分かりました。

2. 作成した「雨庭」の観察

第2回ワークショップで作成した雨庭を観察してもらい、作成直後と時間が経過した雨庭で、どのような変化が生じたかを考えてもらいました。



「公園の景観にもなじんでいる」などの良い点も挙げられましたが、「落ち葉で水路が覆われてしまっている」、「芝生がめくられてしまっているところがある」などの気になるところも見つかりました。

3. グループワーク

浸透実験の結果と観察した雨庭から、「今後雨庭をどう維持管理したらよいか」、「雨庭を広く知ってもらうためにはどうしたらよいか」、「家庭で雨庭をつくる時、どのようなことが必要か」などについて議論してもらいました。

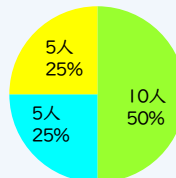


雨庭の維持管理の方法として、区民ボランティアの募集や雨庭の作成を実践している人同士の交流会を開催し、維持管理するなどの意見が挙げられました。雨庭の周知方法については、SNSでの広報に加えて、雨庭の近くに説明看板を設置する、フオスポットをつくる等の意見が挙げられました。

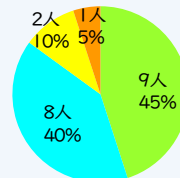
参加者アンケート

調査日: 令和7年11月22日 (土)

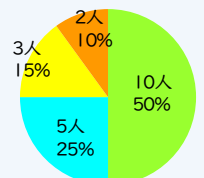
ワークショップの満足度



家庭雨庭をつくりたいか



つくった雨庭の維持管理に参加・協力したいか



とても満足した
満足した
どちらともいえない

とてもつくりたい
つくりたい
どちらともいえない
あんまりつくりたくない

参加したい
時期によっては参加したい
興味はあるが参加は難しい
参加しない